

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

新規受託項目

- [13371] 抗インテグリン $\alpha v\beta 6$ 抗体

受託開始日

- 2024年5月20日(月)



抗インテグリン $\alpha\text{v}\beta\text{6}$ 抗体

潰瘍性大腸炎 (UC) は、慢性の炎症性腸疾患です。

遺伝的素因、環境要因、腸管上皮のバリア機能欠陥、免疫応答の調節不全などの複数の要因が発病に関与していると考えられていますが、発症原因は依然として不明です。現在、CRP、便中カルプロテクチン、などがUCの診断補助検査として用いられていますが、血液を使った簡便且つ特異的な検査はまだ存在しません。

インテグリンは、細胞外マトリックスに結合して細胞接着を媒介するタンパクです。特に、インテグリン $\alpha\text{v}\beta\text{6}$ は腸管上皮細胞に発現し、基底膜側に発現するフィブロネクチンと結合し強固な腸管バリアを形成します。

このインテグリンに対する自己抗体がUC患者で特異的に検出されることが2021年に京都大学のグループより報告されました。

炎症などにより腸管バリアが損傷を受けた際に、この自己抗体が存在するとバリア機能修復が阻害され、炎症が慢性化することが推定されることからUCの発症および病態に関与すると考えられています。

今回、インテグリン $\alpha\text{v}\beta\text{6}$ に対する抗体の検査受託を開始しますのでご活用ください。

検査要項

項目コード	13371
検査項目名	抗インテグリン $\alpha\text{v}\beta\text{6}$ 抗体
検体量	血清 0.3mL [容器番号：01番→02番]
保存方法	凍結
検査方法	EIA
基準値(参考値)	2.20 U/mL 以下
報告上限	9,990,000 U/mL 以上
報告下限	0.500 U/mL 未満
所要日数	不定期:月1回
実施料	未収載

参考文献

Kuwada T, et al. : Gastroenterology, **160** (7), 2383-2394, 2021.